

北海道教育大学釧路校－教育の特徴－

都会にはない、東北海道独特の「よさ」を体感しながら、「アットホームな教育環境」のもと、地域の教育現場との「連携活動」を通じた「実践教育」により、現代社会に求められる幅広い教育能力を磨く。

教育フィールド研究をはじめとした多様な教育実践経験の豊富さ

- ・1年生から学校現場を訪問し、実際に子どもと関わる「実践教育」を展開
- ・「学校支援ボランティア」により、こどもの学習指導を体験し、指導の内容や指導のむずかしさを学ぶ
- ・「学校行事」に参加し、さまざまな観点から子どもを知る能力を育む

教育の原点としてのへき地・小規模校教育の応用

- ・1年生の春に実施される「新入生研修」での、へき地小規模校の訪問
- ・全国でも例のない「へき地教育論」と「へき地校体験学習」による理論と実践
- ・少人数の学習指導方法の開発

食育・自然体験学習をはじめとしたESD教育や地域教育

- ・釧路湿原国立公園・阿寒摩周国立公園・知床世界遺産を生かした自然体験プログラムや自然を活かした自然再生エネルギーなど、新しい環境教育の実施
- ・北海道らしい農業体験学習や食育・命の教育、など、小学生に身近な食と生活に関わる体験学習プログラムの開発
- ・学校教育と連携した様々な地域づくり活動の実践を通して、地域に貢献できる教師を育成

あらゆる子どもを包摂できるインクルーシブ教育と特別支援教育

- ・通常学級と連動した「インクルーシブ教育（包摂の教育）」による特別支援教育の知識・スキルの習得
- ・「特別支援学校教員免許」の取得

多種免許を取得し、小・中一貫の教科教育指導力

- ・小・中一貫教育に対応できる教科の知識と、指導方法、カリキュラム立案の力を磨く
- ・小学校教員免許のほか、中学校の国語、数学、理科、社会、英語、美術、音楽、保健体育、家庭の免許取得が可能

小規模大学の特徴を活かした「アットホームな人間関係」と「協働性」

- ・学生と教員の関係が身近にあり、日常的に専門的アドバイスや様々な相談が受けられる
- ・教師を目指す共通の目的のもと、学生同士の切磋琢磨し助け合う雰囲気が醸成され、約90%の学生が教職へ